

観光地における看板調査～鞆の浦を事例として～

日本大学 学生員 ○大宮 諒 鈴木 健介 武居 宏和
 日本大学 正会員 伊東孝

1. はじめに

鞆の浦は、広島県福山市鞆町の沼隈半島南端にある港湾およびその周辺地域であり、宮崎駿監督の「崖の上のポニョ」の舞台としても有名である。また、日本の美しい風土百選にも選ばれており、国内外からの観光客が多く訪れている。

本研究は、観光地における看板のあり方を検討するため、看板の種類や内容、大きさや分布状況に着目して調査したものである。

2. 調査方法

図4-1のエリアを2人1組のグループに分かれ、歩いて調査し、表2-1のような形態・種類・内容ごとに分類を行う。その際カメラでの撮影と縦×横の大きさ、設置高の計測、地図上での位置をおさえた。

3. 調査結果

看板の形態や種類及び内容は、表3-1~3のようになった。全部で262の看板を抽出できた。看板形態は壁看板が半分弱を(44%)、看板種類は案内看板で72%を占め、看板内容でみると、商店が一番多い(38%)。

表2-1 看板の分類

分類	項目
形態	自立看板、壁看板、そで看板、ビル看板
種類	案内看板、誘導看板、注意看板
内容	寺院、史跡、遺跡、注意、地図 展示館、商店、ポニョ、その他

表3-1 看板形態の数

形態	数	割合(%)
自立看板	94	35.9
壁看板	115	43.9
そで看板	38	14.5
ビル看板	15	5.7
合計	262	100.0

表3-2 看板種類の数

種類	数	割合(%)
案内看板	189	72.1
誘導看板	35	13.4
注意看板	38	14.5
合計	262	100.0

表3-3 看板内容の数

内容	数	割合(%)
寺院	14	5.3
神社	7	2.7
史跡	14	5.3
遺跡	5	1.9
展示館	5	1.9
注意	34	13.0
地図	27	10.3
商店	99	37.8
ポニョ	7	2.7
その他	50	19.1
合計	262	100.0

4. 分析結果

4-1 ゾーン分け

表3-3の看板内容をプロットすると、大きく3つのゾーンに分けることができた(図4-1)。以下で各ゾーンの特徴を分析する。

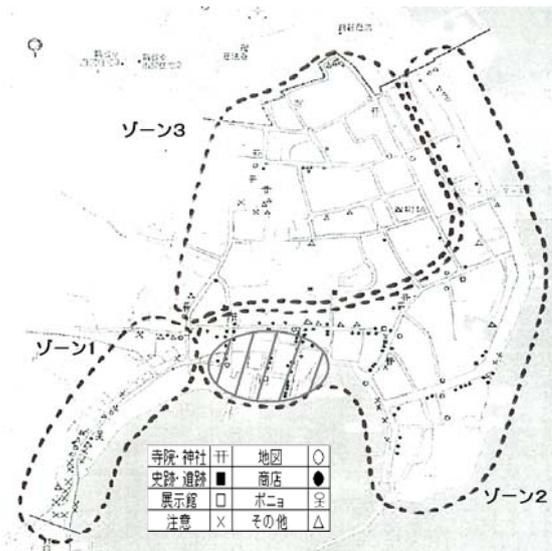


図4-1 看板内容別のプロット図とゾーン図

4-2 各ゾーンの特徴

表4-1 ゾーン1の内容別看板数と大きさ

内容	数	割合(%)	縦×横平均(cm)	設置高平均(m)
寺院	1	3.8	60	40
神社	0	0.0	0	0
史跡・遺跡	0	0.0	0	0
展示館	0	0.0	0	0
注意	15	57.7	81.9	80
地図	1	3.8	35	15
商店	2	7.7	89.5	52.5
ポニョ	2	7.7	30	31.4
その他	5	19.2	95	128.5
合計	26	100.0		

表4-2 ゾーン2の内容別看板数と大きさ

内容	数	割合(%)	縦×横平均(cm)	設置高平均(m)
寺院	7	3.6	118.2	91.3
神社	5	2.6	125.3	96.4
史跡・遺跡	17	8.7	78.3	108.2
展示館	5	2.6	46.0	88.7
注意	17	8.7	63.4	76.8
地図	18	9.2	83.9	82.2
商店	83	42.3	110.7	143.2
ポニョ	5	2.6	51.0	57.0
その他	39	19.9	162.0	88.3
合計	196	100.0		

表4-3 ゾーン3の内容別看板数と大きさ

内容	数	割合(%)	縦×横平均(cm)	設置高平均(m)
寺院	6	15.0	93.5	84.8
神社	2	5.0	290.0	100.0
史跡・遺跡	2	5.0	42.2	66.0
展示館	0	0.0	0.0	0.0
注意	2	5.0	45.0	32.2
地図	8	20.0	30.9	20.1
商店	14	35.0	86.9	111.3
ポニョ	0	0.0	0.0	0.0
その他	6	15.0	64.1	67.9
合計	40	100.0		

キーワード 看板、観光地、ゾーン分け、都市構造

連絡先 〒274-8504 千葉県船橋市習志野台7-24-1 都市環境計画研究室

TEL:047-469-5572 E-mail: itoh@trpt.cst.nihon-u.ac.jp

表4-4a 注意看板の内訳 (ゾーン1)

注意看板の種類	個数	割合 (%)	縦×横平均 (cm)	設置高さ (m)	高さ平均 (m)	
交通標識	離合箇所	4	26.7	115	60	2.6
	大型車通行不可	1	7.1	75	250	
	合流注意	1	7.1	90	200	
	道路標識	5	35.7	81	48	
	矢印	1	7.1	44	89	
生活看板	車庫	1	7.1	48	90	1.1
	駐車お断り	1	7.1	21	6	
	子供110番の家	1	7.1	40	15	
合計	15	105.2381				

表4-5b 注意看板の内訳 (ゾーン2)

注意看板の種類	個数	割合 (%)	縦×横平均 (cm)	設置高さ (m)	高さ平均 (m)	
交通標識	石橋に段差あり	1	5.9	30	40	2.3
	譲り合って通行	2	11.8	30	120	
	離合箇所	1	5.9	30	120	
	駐車禁止	2	11.8	40	85	
	この先行き止り	1	5.9	30	50	
	駐車場は直進	1	5.9	60	30	
生活看板	不審者に注意	1	5.9	25	20	1.1
	ごみの仕分け	2	11.8	60	90	
	立ち入り禁止	2	11.8	40	60	
	港湾施設注意	2	11.8	70	90	
	この近くは危険	1	5.9	50	100	
	資源回収	1	5.9	35	25	
合計	17	100.0				

ゾーン別の表をみるとゾーン2の196個(75%)が一番多く、以下ゾーン3(40個、15%)、ゾーン1(26個、10%)となる。ゾーン1では、看板数は少ないが、内容別の数を見ると、注意看板が15個(57.7%)を占めている。ゾーン2は、看板設置数が一番多く(196個)、中でも商店看板が全体の42.3%を占め、土産物屋など観光客向けの商店が多い。

4-3 各ゾーンの比較

4-3-1 ゾーン1とゾーン2の比較

前述したようにゾーン1は注意看板が多く、ゾーン1内の看板数の57.7%(15個)を占める。ゾーン2にも注意看板が17個あるので、この二つの地域で注意看板の相違を分析する。表4-4は注意看板の内訳を、交通標識と生活看板で分類したものである。それぞれゾーン1では12個と3個、ゾーン2では8個と9個である。さらに書かれている内容をみると、ゾーン1では、交通標識が「道路標識」(5)と「離合箇所」(4)が多く、ゾーン2では、「譲り合って通行」や「駐車禁止」がそれぞれ2箇所あるのみで、あとはさまざまな交通標識となっている。

生活看板も多様である。ゾーン1は3個だがひとつひとつ違い、ゾーン2は「ごみの仕分け」「立ち入り禁止」などの2個ものと、残りはひとつものとなっている。

鞆町自体は狭い地域だが、地域によって生活看板に相違がみられる。

4-3-2 ゾーン2とゾーン3の比較

ゾーン2とゾーン3の看板を観光客向け(観光スポット案内など)と地元住民向け(生活看板など)に分類すると、表4-5a、表4-5bのようになる。

ゾーン2では観光客向けの看板が多く(159個)、看板全表4-5a 内容別対象別看 表4-5b 内容別対象別看

板数 (ゾーン2)

内容	対象	数
寺院	観光客	7
	地元住民	0
神社	観光客	5
	地元住民	0
史跡、遺跡	観光客	17
	地元住民	0
展示館	観光客	5
	地元住民	0
注意	観光客	3
	地元住民	14
地図	観光客	18
	地元住民	0
商店	観光客	69
	地元住民	14
ポニョ	観光客	5
	地元住民	0
その他	観光客	30
	地元住民	9
合計	観光客	159
	地元住民	37
割合 (%)	観光客	81.1
	地元住民	18.9

板数 (ゾーン3)

内容	対象	数
寺院	観光客	0
	地元住民	6
神社	観光客	0
	地元住民	2
史跡、遺跡	観光客	2
	地元住民	0
展示館	観光客	0
	地元住民	0
注意	観光客	0
	地元住民	2
地図	観光客	8
	地元住民	0
商店	観光客	1
	地元住民	13
ポニョ	観光客	0
	地元住民	0
その他	観光客	1
	地元住民	5
合計	観光客	12
	地元住民	28
割合 (%)	観光客	30.0
	地元住民	70.0

表4-6 ゾーン2とゾーン3の看板の平均サイズ

	縦平均×横平均
ゾーン2	93.2cm×92.5cm
ゾーン3	70.4cm×70.3cm

表4-7 「その他」の項目の内訳

項目	ゾーン1	ゾーン2	ゾーン3	合計
駐車場		4		4
銀行			2	2
選挙	1	1	1	3
福山方面		1	1	2
公共施設	3	1	2	6
薬局		1		1
歯科		1		1
宿泊施設		3		3
掲示版	1	3		4
環境ポスター		1		1
史跡めぐり		4		4
ギャラリー		1		1
港湾整備事業		8		8
鞆の浦紹介		8		8
その他		2		2
合計	5	39	6	50

体の81%を占める(表4-5a)。国の重要文化財である鞆七卿落遺跡や人の集まる常夜灯、雁木があり、また観光客向けの商店が多いためといえる。一方、ゾーン3は住民向けの看板が多く、看板全体の70%を占める(表4-5b)。基本的には住宅街で、観光客も少ないので、地元住民向けの看板が多い。看板の大きさを調べると、ゾーン2では看板の縦×横の平均が93.2×92.5cmに対し、ゾーン3では70.4×70.3cmである。これは、ゾーン2は観光客向けの店が多いので、目につくように看板が大きくなっている。また表3-3で「その他」の看板数が多いので、ゾーン別内訳を調べた(表4-7)。ゾーン2に多種多様な看板が存在していることがわかる。

5. おわりに

今回、看板を調査し、それらを分析、比較することで、その場所の環境、条件によって看板に違いが見られた。海沿いの地域では、商店看板と注意看板が多く、観光客向け看板の割合が大きく、内陸、山沿いの地域では看板がとてもなく、地元住民向け看板の割合が大きいなど、地域によって違いが見られた。以上から、看板分析の面からも都市や地域の細やかな構造が説明できるといえそうだ。